

IHEを利用した採血管準備システムの構築

2009/10/9

京都第一赤十字病院 検査部

大嶋 文子
加藤 元一
野田 豊和
三宅 雄一郎
本間 由香里

日本IHE協会 (株)テクノメディカ
日本IHE協会 (株)エイアンドティー

平沢 修
渡邊 真一

京都第一赤十字病院 概要

- 実稼働病床数：699床
- 外来患者数：1,380人／日
- 平均在院日数14.6日
- 救急車搬入件数5,855件
- 承認指定
 - ・救命救急センター
 - ・総合周産期母子医療センター
 - ・地域医療支援病院
 - ・地域がん診療連携拠点病院
 - ・エイズ拠点病院
 - ・京都府基幹災害医療センター



採血管準備システムと臨床検査システム

■ 採血管準備システム

- BC-ROBO-787(株式会社テクノメディカ)
 - 今年7月にBC-ROBO-585から更新
 - 患者認証機能の採用

■ 臨床検査システム

- CLINILAN GL-2
(株式会社エイアンドティー)

The screenshot shows the CLINILAN GL-2 interface with the following details:

- 受付患者数:** 1人
- 待人数:** 1人
- 待時間:** 30分
- 検査担当者:** 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10
- 整理番号:** 350
- 生年月日:** 1959/11/06
- 性別:** 女
- 年齢:** 48才
- 患者氏名:** テスト カンジャ
- 検査項目表:**

容器名	採取量	容器名	採取量
1 微生物	3.0ml		
2 化学	4.0ml		
3 種空Hb	2.0ml		
4 血算	2.0ml		
- 採血コメント:** 病回貧血
- ボタン:** 採血終了, 採助要請, 保留, 取消, コメント入力, 履歴表示

IHEとは

- IHE: Integrating the Healthcare Enterprise
医療情報システムの相互接続を推進する
国際的なプロジェクト

- マルチベンダによるシステム構築の課題
 - 接続仕様のすり合わせや接続テスト
 - 検査項目コードなどのマスター変更



- IHEではガイドラインの中で

標準通信仕様、標準マスタの利用を推奨

HL7 Ver.2.5

臨床検査項目分類コード(JLAC10)
(日本臨床検査医学会提供)

IHE採用の理由

- 電子カルテ導入時に固有の項目マスタの入力作業に膨大な時間を有した。次期システム更新時は必ず標準化しようと考えていた
- IHEを採用した理由
 - コネクタソンで接続の実績がある
 - 今後のシステム導入、更新でのIHE採用を考慮
 - 「通信はIHE仕様で」と言えば、他メーカーのシステムへもスムーズに切り替えられるはず
 - 仕様すり合わせの工数削減、費用軽減に期待
 - 臨床検査システムと自動分析装置間へのIHE採用に期待

実際にIHEを採用して

- IHEやHL7の専門家ではなくても、
実際の業務は問題なく実施できた



まとめ

- 採血管準備システムの更新に伴い、臨床検査システムとの接続にIHEの仕様を採用した
- IHEやHL7の専門家ではなくても、実際の業務は問題なく実施できた
 - IHE準拠であればベンダーに任せておけば、安全で安価な接続が可能です
- 今後の展開に期待
 - JLAC10の採用
 - 臨床検査システムと自動分析装置間へのIHE採用

ご清聴ありがとうございました。